

石川婦人

2024. 10. 1発行
石川県婦人団体協議会
〒920-0861 金沢市三社町1-44
石川県女性センター内
TEL 076-263-4643
FAX 076-263-0118

No. 100
ISHIKAWA FUJIN
題字 石川県知事 馳 浩氏



『一日も早い復旧・復興を！』

石川県婦人団体協議会会長 能木場 由紀子

酷暑もようやく納まり、朝夕の風に秋を感じる頃となりました。能登半島地震から早や9ヶ月、ようやく仮設住宅に入居できた喜びもつかの間、再び被災地に奥能登豪雨により甚大な災害が発生しました。地域住民の希望の灯りであった中屋トンネルを開通を目前に土砂で埋め、家屋を流し、尊い命まで奪い去りました。なんとということでしょう。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞いを申し上げます。日常生活に欠かせない電力や水道、そして通信網などの一部寸断、土砂崩れによる孤立地域も何か所も発生しました。心が折れても生きていかなければと、気丈に語る被災者の方々にかける言葉もみつかりません。どうぞくれぐれもお大事にと祈るばかりです。

8月のバリ五輪では被災地に思いを馳せた、石川県勢の活躍に大いに盛り上がりました。津幡町出身の石川県の星、西の関脇大の里は初土俵から9場所で最速大関に昇進して、被災地に笑顔を届けて、明

るい話題となりました。能登で生きると決めた人々に心を寄せ、先の長い支援の輪をこれまで以上に広げていきましょう。

恒例の県政会議は9月の中能登地区からスタートし、加賀地区、能登地区、金沢地区と馳知事とのごつくばらんな形式での開催となります。

全国女性団体連絡協議会では、筑波大学と提携して次世代リーダー研修が始動します。石川県からも若手の会員の皆様が積極的に参加し、スキルアップされるよう期待しています。

南海トラフの予知を思わせる日向灘を震源とする地震や、次々と発生する台風による風雨災害など今年も自然災害の多発が懸念されます。防災・減災の取り組みをこれまで以上に強化しなければなりません。

千枚田の稲も黄金に輝き、実りの季節となりました。一日も早い復旧、復興をひたすら祈りつつ、県婦協会員一同、後期の活動をスタートします。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

石川県婦人団体会長研修会

6/8(土) 石川県女性センター

令和6年1月1日の能登半島地震により被害を受けた方々に、心よりお見舞い申し上げます。令和6年度の会長研修会が6月8日石川県女性センターホールに於いて開催されました。開催を懸念いたしましたが、婦人会として微力ですが、何らかの応援が出来ればと実施しましたところ、被災地域の方々も多数参加いただき、嬉しく思いました。石川県教育長の北野喜樹様から激励のことばをいただき、その後、午前中の講演として、「令和6年能登半島地震における北陸電力グループの対応状況について」北陸電力(株)様と「災害時のライフラインについて」イワタニセントラル北陸(株)金沢支店様からお聞きしました。それぞれ厳しい被災生活を目の当たりにし、進まない対策に苦慮されていることなど、身近な問題を聞くことができました。

午後の講演は「災害と人権」～自分も人も大切に

するために～精神科医 香山リカ様は、誰もが起きる精神的ストレスから起きる病気を自分で抱えず話すこと、また話を聞く事で予防ができると話されました。

会場から質問を受け辛い被災生活を我慢して、同じ環境で辛さを話し合える人との関係が作れたらとアドバイスを頂きました。被災地の今後の復興をご祈念しながら、無事1日の日程を終えました。

(金沢市 安嶋)



努力目標 ふるさとに愛着と誇りをもち、地域活性化に取り組もう

インタビューコーナー

安心して暮らせる社会づくりに向けて

石川県生活環境部
生活安全課長 村田 敦



高齢化や高度情報化の進展などの環境の変化に伴い、消費者を取り巻く環境は多様化・複雑化の一途を辿っています。とりわけ、高齢者を狙った悪質商法は依然として後を絶たず、その手口はますます巧妙化しています。

最近では、県の消費生活センター等の相談窓口へ寄せられる相談の中でも屋根工事の点検商法に関するトラブルの相談が増加するなど、能登半島地震に関連したトラブルも見受けられます。

こうした中、石川県婦人団体協議会におかれましては、高齢者等への見守り活動や寸劇による啓発活動など、消費者被害防止に積極的に取り組んでいただいております。深く感謝を申し上げます。

県としても、県民の皆様が安全、かつ安心して消費生活を営むことができる社会の実現を目指し各種施策を推進しており、引き続き、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

能登半島地震 支援の輪 6/23(日)

6月23日能美市寺井校下女性会、防災・ボランティアサークルのメンバーを中心に珠洲市生涯学習センターにて炊き出しをさせていただきました。

炊き出し調整係の方との連絡や資機材、材料の調達と毎回大変ですが、各町会からの支援金や現地に行けなくても前日準備を手伝ってくれる方々が毎回いるので本当に心強いです。能登の方々に思いを馳せながらの準備。「なんか楽しいね」の会員さんの言葉がとても嬉しかったです。

炊き出しに携わって下さった方々の心も一緒に能登へ出発。生憎の雨でしたが能登豚を使用したカツカレーにカツ丼、具沢山のスープ、フルーツポンチ。避難所の方や在宅避難の方、皆さんとても喜んで下さいました。発災2週間後に訪れた能登とさほど変わらない状況に心がとても痛いです。今後も出来ることを皆で探して、お手伝いできればと考えています。

(能美市 上田)

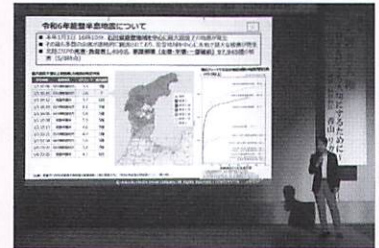


防災学習会 6/8(土) 石川県女性センター

令和6年6月8日石川県女性センターホールにて開催の防災学習会では、「能登半島地震における北陸電力グループの対応状況について」と題し“ここをひとつに能登”をスローガンとしての講演がありました。未曾有の大地震を経験してしまった私達にとって、停電や長期にわたる断水など、生活全てが不便になり、辛い毎日が続きました。幸い私の所は、家は半壊でしたが、思ったより通水が早く、停電もほとんどなかったのですが、これはいち早く非常対策本部を設置し、被災地の被害状況を把握し、復旧作業に着手していただいたお陰であり、並々ならぬ大変なご苦労があったことを知りました。

午後は、精神科医の香山リカ先生をお迎えし「防災と人権」と題して、災害時には、大変な時だからこそ「自分を大事にし、人も大事にする」という事を専門家の立場からわかりやすく話されました。私にとって今日の研修会は、この地震の体験を無駄にせず、今後に生かしていく事の大切さを思い知らされた一日となりました。

(七尾市 中根)



全国女性団体連絡協議会 中部ブロック会議 9/11(水)~9/12(木) 福井県

開会式は桜井会長の「意義ある会にしよう」との挨拶で始まりました。杉本知事の「負けたら終わりではなく、やめたら終わりだ」というお言葉は私達の活動にも通ずるものがあると思いました。ゴスペル歌手市岡裕子氏(故・岡八朗氏長女)が「人生あきらめたらあかん!~苦しいときこそ夢と希望と音楽を~」と題して基調講演をされました。壮絶な葛藤の末に手にした父娘の絆、絶望からの再起など波瀾万丈な人生を、時には面白おかしく話され最後は2曲独唱し会場は割れんばかりの拍手となり、お話された「感謝」「愛」の大切さを心に刻みました。次にドラムサークルで会場の皆が一体感を感じ楽しい時間を共有しました。その後は桜井会長と各県の会長によるパネルディスカッション。共通の課題や女性会の盛り上げ方等で展開していきましました。

2日目は坂井市龍翔博物館・福井県教育博物館を見学し見聞を深めました。



緑の募金・複十字シール募金

ご協力ありがとうございました。

**第55回北方領土復帰促進婦人
・青年交流集會に参加して** 7/13(土)~7/15(月)
根室市

7/13~7/15の日程で櫻井よう子全女会会長以下8県の代表者一行17名は、羽田空港を出発、夕方気温20℃の根室中標津空港に到着しました。阿寒バスにて羅臼小学校へ移動。歓迎セレモニーの後、元島民後継者3世である、羅臼町役場職員の平藤亮氏の講話を拝聴しました。祖父の志発島から脱出した当時の生々しい状況を、青年部活動の中で語り部事業としてこれからも継続すると力強く話されました。

2日目は標津町交流ハウスで元島民2世である小野瀬稔之氏からロシアによる理不尽なサケ、マス漁の現状を聞き、漁業関係者の苦勞に心が痛みました。昼食に地元料理鮭のチャンチャン焼きを味わいました。別海町の漁港から船で国後島を間近にながめ、ロシアの監視船を見て、不法占拠に対し改めて怒りがこみ上げてきました。

3日目は納沙布岬の祈りの火の前で領土返還への願いを込めた大会アピールで終了しました。1970年から続く婦人青年交流集會が次世代の若者にこの活動の中心となり、全国的な運動になることが重要と強く感じた交流会でした。

(金沢市 能木場)



**北方領土返還要求
キャラバン隊に参加して** 8/21(水)

北方領土返還要求キャラバン隊に、石川県婦人団体協議会を代表して参加しました。今回は、震災の影響で加賀隊のみです。日本労働組合総連合会石川県連合会・石川県日本青年会議所石川ブロック協議会・石川県商工会議所連合会・石川県市長会・県職員の各代表の方と共に、6市町を表敬訪問しました。

活動を通して、北方領土問題への関心を広める重要性を再認識しました。79年前、17291人の方が、故郷を強制退去させられました。元島民の方々の気持ちを思うと、心に深い感慨が残ります。日露関係は、大変厳しい状況に置かれていますが、啓発活動を着実に推進していく事が、今後も必要だと感じました。署名にご協力頂いた皆様に、心より感謝致します。(加賀町 東本)



加賀市

笑顔の輪

今年度、被災者支援活動からのスタートとなりました。被災者様に寄り添い、何気ない声掛け、お手伝いを通して心が痛む思いでした。

加賀市女性協議会は、市内798名が在籍しています。加賀市の人口減少が深刻化する中、私達団体も、会員数減少の課題に直面しています。無力ながら何が出来るのかと模索している時、夏祭りの仮装輪踊りに、参加する機会がありました。活動をPRし、地域連帯意識を高める場になったと思います。そして、優勝！笑顔の輪が溢れました。忘れられないひとときとなりました。

こんな時だからこそ、「楽しかった、仲間が出来た。」という声が聞けるような、面白い活動をしていきたいと考えます。賛同し、ご協力頂いた皆様に、感謝し、今後も引き続きのご支援をお願い致します。



**地区
だより**

かほく市

支援に感謝

能登半島地震をうけ、かほく市と友好都市である、長野県駒ヶ根市より非常食やブルーシート等々、多くの支援をいただきました。

「災害時の相互応援に関する協定」の締結を機に様々な交流を行っています。

私達は毎年8月に研修旅行を実施しており、今年は研修先を駒ヶ根市にしました。

市役所に表敬訪問。市町、副市長、職員の方も温かく迎えて下さり、直接お礼 感謝の言葉を伝えることができました。

その他、杵原学校、元善光寺、養命酒(株)駒ヶ根工場の見学など会員同士の絆も深まり、充実した研修旅行でした。

かほく市女性協議会では災害に備え、各々がスキルアップできるよう防災学習会にも力を入れていきたいと思っています。





令和6年度
理事です
よろしくお願ひします

令和6年度 石川県婦人団体協議会事業計画

基本方針 温もりのある地域づくりと男女共同参画社会の推進をめざす

1. 組織運営の効率化と会員の資質向上につとめ、心豊かな地域づくりをすすめよう
2. 男女共同参画社会をめざしてエンパワーメント（能力をつける）をたかめよう
3. 家庭教育を重視し、青少年の健全育成をめざすと共に生涯学習・環境・福祉問題に取り組もう
4. 女性の視点を取り入れ地域防災活動の取り組みを強化しよう
5. 多様化する国際情勢を把握し、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に努力しよう

令和6年度 年間行事

役員会、理事会、随時開催		金沢地区 金沢市 石川県女性センター	12月21日(土)
理事総会	4月24日(水)	第44回石川県交通安全母親大会	12月7日(土)
婦人団体会長研修会	6月8日(土)	第44回石川県婦人意見発表大会	12月7日(土)
防災学習会	6月8日(土)	いしかわ環境フェア2024出展	8月24日(土)～25日(日)
北方領土返還要求キャラバン隊 県内一巡、署名運動、県民大会	8月21日(水)	広報誌「石川婦人」の発行	(10月・3月)
東海・北陸ブロック交通ボランティア等講習会（愛知県）	9月11日(水)	交通安全おもいやり家族サポート事業	(4月～3月)
全女連中部ブロック会議（福井県）	9月11日(水)～12日(木)	世代間交流実践研修会（随時）	
第72回全国女性団体研究大会（京都府）	10月6日(日)～8日(火)	グッドマナーキャンペーン	(9月)
第54回婦人リーダー研修会（京都府）	10月6日(日)～8日(火)	早煮昆布・ちふれ化粧品販売推進	(4月～3月)
第69回石川県女性県政会議		ちふれ化粧品1人2個購入運動	(4月～7月)
中能登地区 かほく市 七塚健康福祉センター	9月14日(土)	緑の募金運動	(4月～5月)
加賀地区 加賀市 学びの杜のいちカレード	10月19日(土)	複十字シール募金	(8月～11月)
能登地区 穴水町 能登空港ターミナルビル	11月2日(土)	結核予防キャンペーン	(9月)
		献血ボランティア	(4月～3月)
		能登半島地震支援事業	(4月～3月)

いしかわ環境フェア 2024 8/24(土)～25(日)

体験コーナー カレンダーを利用した紙バッグ作り



退任された理事

能登町 中山 満子
能美市 石田 晴美
津幡町 松村 紀子
加賀市 内灘町 川辺 昌子
宮崎 信子

ご苦労様でございました

役職名	氏名	市町名	備考
会長	能木場 由紀子	金沢市	
副会長	安嶋 弘子	金沢市	
理事	柳幸枝	白山市	
書記	久保由味子	小松市	
書記	松村千恵	かほく市	
書記	寺口優美子	志賀町	
書記	中根春美	七尾市	
書記	重野さとみ	能登町	
書記	上野久美子	金沢市	
書記	前田千代子	金沢市	
書記	寺井順子	珠洲市	
書記	東本喜美枝	加賀市	
書記	上田美智子	能美市	
書記	澤村昭子	野々市市	
書記	山田清枝	野々市市	
書記	小泉恭代	川北町	
書記	松川祐子	津幡町	
書記	本川由美子	内灘町	
書記	宮下すみ子	中能登町	
書記	中山満子	穴水町	
書記	石田晴美	能登町	
書記	高田千恵子	能美市	
書記	藤多典子	野々市市	

令和6年度 役員・理事